

## 呉竹墨すり機使用上の御注意

- 墨を「墨ばさみ」に取付ける時、「墨ばさみ」の下端より下へ15～20mm程度出して硯面に密着させて下さい。
- 「墨ばさみ」のネジは回転中ゆるまぬよう確実にしめて下さい。
- 「墨ばさみ」の金具が硯の側面に接触しないか確認して下さい。
- 回転を停止させた時、すぐに墨を引上げて墨に付着した水分を紙又は布でふき取って下さい。

## 操作の手順

1. シャフト①をオモリ⑫と共に持ち上げ、オモリ受け支柱③で受ける。
2. 硯石置台⑤の中心に天輪硯⑥を置く。
3. 墨はさみ⑨に墨を取り付ける。
4. オモリ受け支柱③をはずしてシャフト①を静かにおろす。
5. 天輪硯に適量の水を入れる。(50ml～100ml)
6. コードをコンセントに差込みスイッチを入れる。

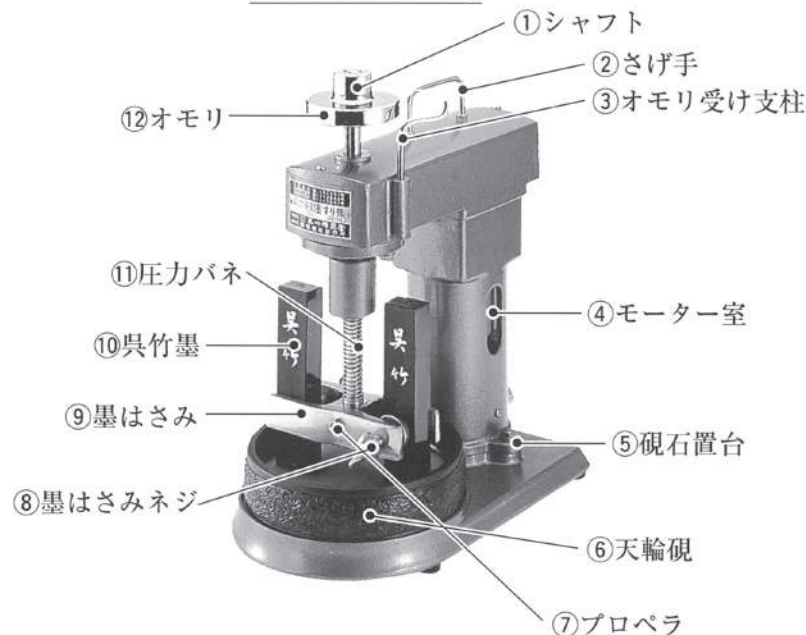


5丁型墨すり機用墨各種取揃えています。

すばらしい効率

# 呉竹電動墨すり機

## 小型機詳細図



# Kuretake

株式会社 呉竹

〒630-8670 奈良市南京終町7-576

TEL: 0742.50.2050

URL: www.kuretake.co.jp

## 呉竹墨すり機専用天輪硯の使用法と手入れ法



天輪硯 中

天輪硯は超微粉結晶体を鋒鋦とし特殊な資材を用いて生産された人造硯で鋒鋦の結晶粒子の硬度は9.3度です。

従って墨おり性は抜群で磨墨による硯面の磨滅は天然硯に比べ1/10以下です。

下図硬度表参照

硯名	鋒鋦物	硬度
	ダイヤモンド	10度
	ガラス	5℃
端溪	緑簾石、その他	6.5℃
羅紋	斜長石、その他	6℃
天輪	特殊超微粉結晶	9.3℃

### ■使用法

1. 鋒鋦が鋭いので余り強い圧力を掛けぬよう御注意下さい。
2. 硯石置台の中心に安定させ墨が硯面に密着しているか確認下さい。
3. すり終わった時、スイッチを切ると同時に必ず墨を硯面からはなして下さい。

### ■手入れ法

- A. 硯の鋒鋦と鋒鋦の間の凹部(谷間)が墨でうまり凹凸の差が少なくなって磨墨状態が悪くなった場合

ご使用後天輪硯に熱湯を入れ谷間に入った墨分を軟らかくし、湯のさめた頃にタワシで硯面を磨いて下さい。  
谷間の墨分がキレイに掃除され復元します。

- B. 長時間使用のため(延、使用時間500時間以上)鋒鋦の頭が磨滅した場合

天輪硯の硯面を呢砥石で磨いて下さい。(目立て作業)  
鋒鋦と鋒鋦の間の凹部を作っている黒い砥物がすりへって谷間が深められ凹凸が進み復元します。